

華やかな秋祭りの中を駆け抜ける選手 =珠洲市正院町川尻



# 祭りの能登路 快走

ツール・ド・のと2日目



全3日間の走破を目指すチャンピオンコースに567人、1日コースに191人が出場

第23回「ツール・ド・のと400～能登島一周サバイバル・サイクル2011」（同実行委、石川県白山市マリンタウンから七尾市能登島マリンパーク海族公園までのコースで行われた。75人は能登各地で營まれた秋祭りにぎわいの中や景観を堪能した。

勝地を駆け抜け、豊かな自然や風土を体感した。

住民、若衆から声援

した。厳しく残暑の中、若衆から、温かい声援が送られた。  
出場者は外浦、内浦の海岸線や山間部の峠道など、全口程で最も長い168・8キロのコースを走り進んだ。能登各地で秋祭り最盛期を迎えたこともあり、コースの121・7キロを行わる道では住民も祭りのれる。

痛みに耐えゴール

今大会出場者で最年少となる7歳の勘田泰成君(金沢市中央小2)は、到着制限時間まで残り4分に迫った後5時56分に能登島のゴールに父や兄とともに到着した。

ド、兄の悠悟君(13)と敬司君(11)も励まし、チェックポイント(?)の出走制限時間を間髪で通過、ゴールにたどり着いた。

ゴールで出迎えた母政美さん(44)は、「一時はだめかと思ったけど」と安心。泰成君は「3日目も大丈夫」と元気な話した。

A group of cyclists, including children, are riding bicycles on a paved road. The cyclists are wearing various colored jerseys and helmets. In the foreground, a child in a blue and white jersey is looking towards the camera. The background shows other cyclists and trees under a clear sky.

父や兄の激励を受け懸命にペダルをこぐ  
勘田泰成君（前列左）一能登町立里川小

今大会の出場年最長となつた81歳の松島忠弘さん＝奈良市＝は、途中に左鞆が壊れ、2日目は能登町内の11キロ地点で走行を断念

最年長81歳  
左靴壊れる  
「最終日は完走」

19回目の参戦。走行を  
100～200キロ走  
破ると、いつ松島さん  
は、ツール・ド・のと  
米寿を超ても毎月  
100～200キロ走  
したり。  
断念したのは3回目  
が、「こんなトラブル  
もある。最終日はし  
かり走ります」と、  
に焼けた顔で力強く  
つた。

A group of triathletes, mostly men, are resting on wooden benches. They are wearing athletic gear, including blue and white singlets with race numbers like 166 and 167. Some are smiling at the camera. The background shows a grassy field and trees under a clear sky.

能登島の味と  
足湯で癒やし

ゴール地点では能日目を終えた出場者たち。登島の女性ボランティアは近くの「ひよっこアグレーブすみれ会」が温泉島の湯の湯をアグレーブすみれ会のメンバーが作った大引いた足湯につかり、七尾湾を眺

陸自金沢駐屯地 自転車回収に奔走